

- この説明書は必ず施工される方にお渡してください。
- 本製品は、ケーシングタイプ薄壁用は壁厚(111~141mm)、厚壁用は壁厚(142~182mm)に取付けられます。

■施工される方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

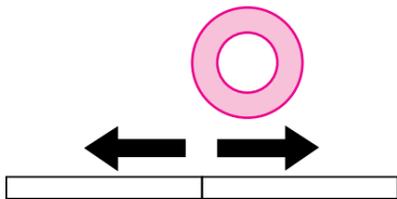
▲注意

- 上レールは仮固定ですので、必ず指定のねじで躯体へ固定してください。本体が脱落するおそれがあります。
- 吊車は指定のねじで締め付け、ガタツキのないように固定してください。本体が脱落するおそれがあります。
- 本体へはもたれ掛からないようにしてください。本体が外れ、転倒しケガの原因になります。
- 本体を50°未満の状態では移動させないでください。下部ガイドピボットが外れて本体がぶつかり、ケガの原因になります。

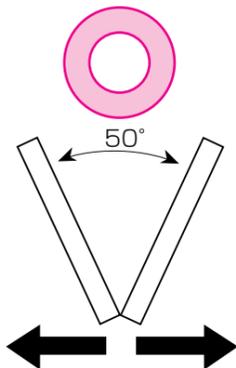
■本体の開閉操作上のお願い

1 本体の開閉方法

- ※本体の開閉は、下記(2通り)のいずれかの方法で行ってください。
- 本体をフラットなまま移動させます。



- 50°の角度で本体が一時固定するようになっていますのでこの状態で移動させます。



- ※角度50°未満の状態では、移動させないでください。動きがギクシャクしたり、ガイドピボットの走行に支障がでたりします。



- ※本体は把手をもって操作してください。本体と枠のすき間や、本体間のすき間で手や指をはさむおそれがあります。

2 ストッパーの使用法

- つまみを下げるとロックがかかり、本体があかなくなります。

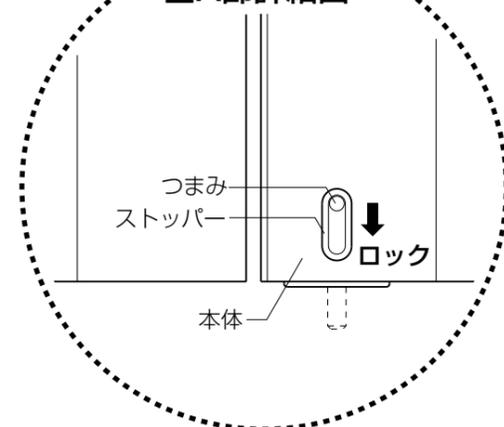
▲注意

- 本体に寄りかからないでください。無理な力が加わると、本体が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になります。

- ※ストッパーは簡易固定用です。ぶつかったりすると本体が開くことがあります。



■A部詳細図



■施工上のお願い

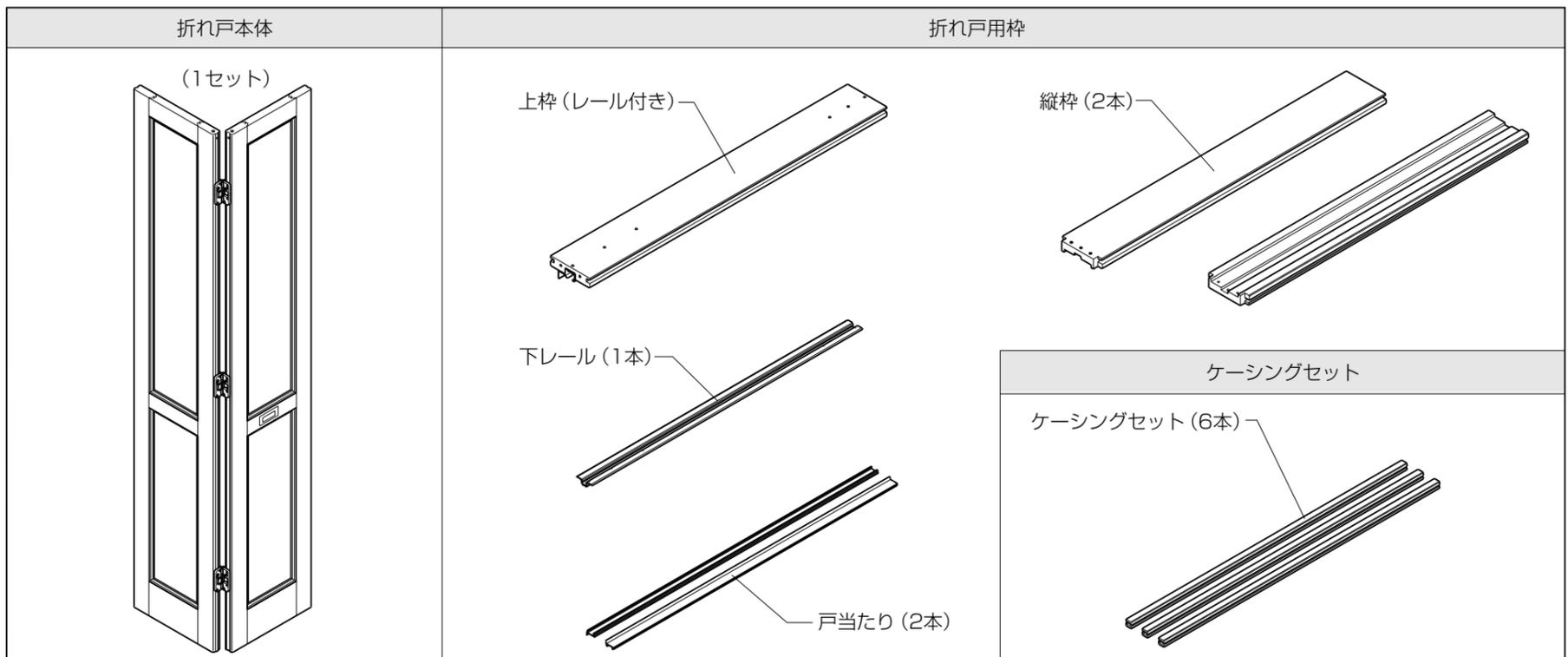
- 本製品は上吊り方式のため、はり又はまぐさで重量を受けます。必ず本体重量に耐える断面寸法の、はり又はまぐさをご使用ください。

間口	本体重量	はり・まぐさの断面寸法(幅×高さ)
6尺	50Kg	105mm×180mm以上
9尺	75Kg	105mm×300mm以上
12尺	100Kg	105mm×360mm以上

- 必ず指定のねじ(同梱)で組立て・施工してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂れ下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠組立て後は、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 集成材を使用していますので、枠にソリ、ねじれがある場合があります。かい木を使用し、建具枠の水平・垂直を調整してください。
- 造作材・建具枠を取付ける際は、必ず接着剤を併用してください。かい木の両面に接着剤を塗布してください。
- 上枠とまぐさのすき間は、必ずかい木を入れてください。
- かい木は、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 枠を取付ける際、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
- 本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付きのドライバーの弱で締めてください。締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
- 下レールは、補強材が入っていることを確認してから取付けてください。
- ガイドピボットは、必ず樹脂部に当て木をして押込んでください。ガイドピボットの破損・変形により、開閉に支障が出るおそれがあります。
- ジョイントレールを取付ける際は、ジョイント部に段差が出ないように注意してください。吊車破損の原因になります。
- ストッパーは簡易固定用です。ぶつかったりすると、本体が開く事があります。

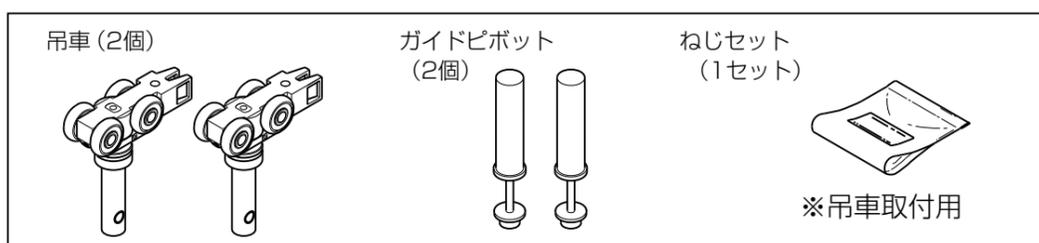
■部品・部材の明細

- 部材の明細 ※本体・枠セット・ケーシングセットは別梱包です。

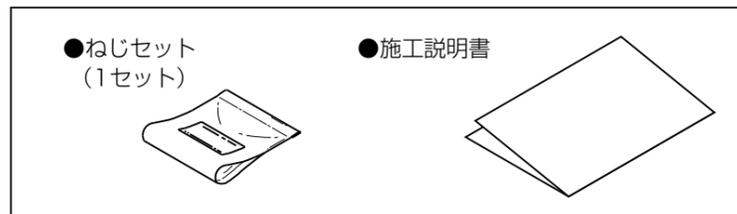


■本体用部品<本体同梱>

- ※上ローラー取付けねじは、本体同梱のねじセットに入っています。



■ 枠用部品 < 枠同梱 >



〔 枠用ねじセット明細 〕

	W16	W24	W33
組立てねじ 皿小ねじM4×50	4本	4本	4本
上枠取付け用 トラストタッピンねじφ4×60	※10本	※12本	※15本
縦枠取付け用 皿木ねじφ3.8×50	12本	12本	12本
下レール固定用 皿タッピンねじφ3.5×20	5本	7本	9本

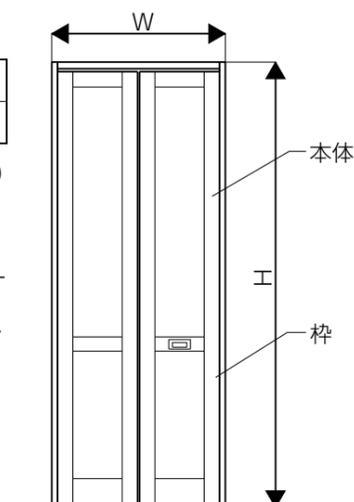
※予備用4本入り

■ 製品寸法表

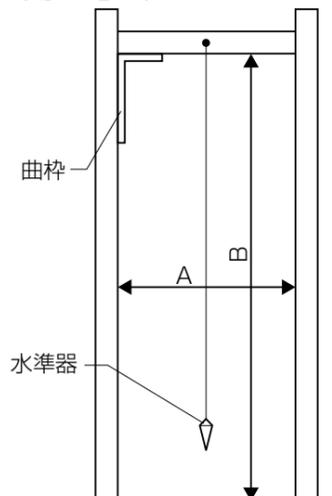
● 開口寸法表 (単位: mm)

開口A寸法	W+5
開口B寸法	H+5

※開口H寸法は、床上面からはり(まぐさ)までの寸法を示す。
 ※本製品は上吊り方式のため、必ず本体重量に耐える断面寸法のはり(まぐさ)をご使用ください。(施工上のお願い参照)

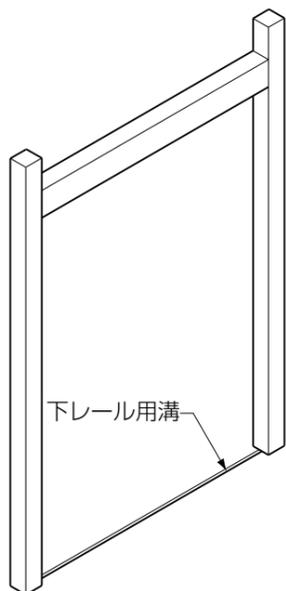


● 開口寸法

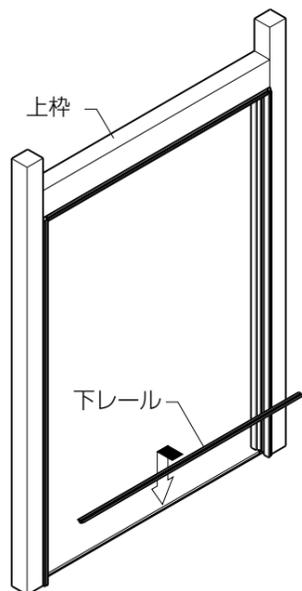


■ 取付け順序

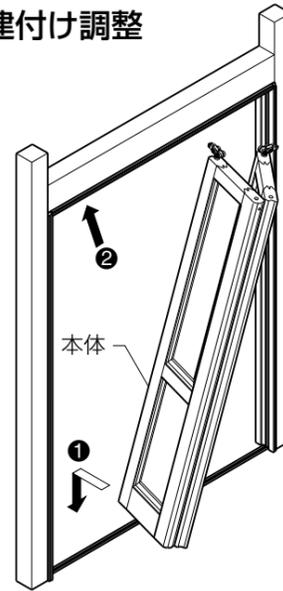
1 開口部の作成・床の施工



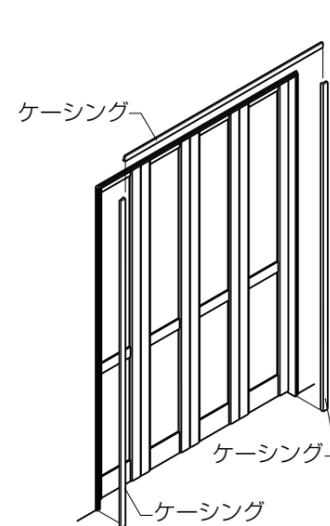
2 枠の組立て・取付け



3 本体の取付け 4 建付け調整



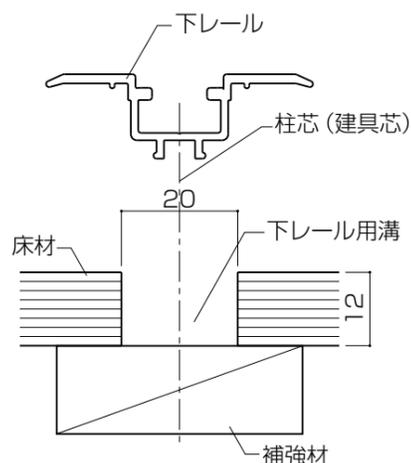
5 ケーシングの取付け



■ 取付け詳細

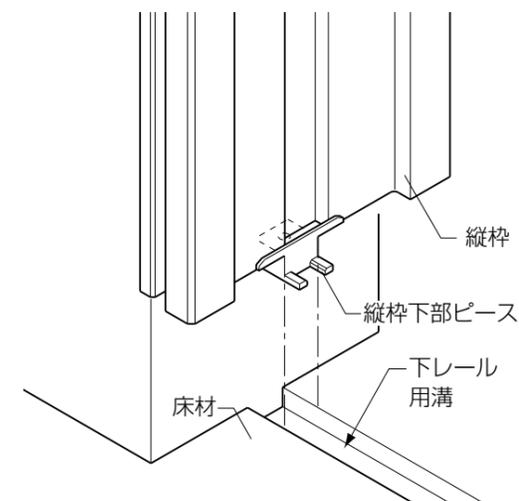
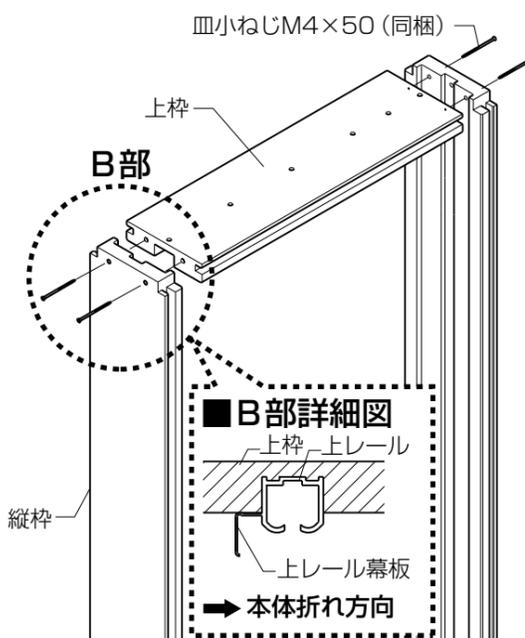
1 開口部の作成・床の施工

- ①製品寸法表から開口寸法を算出し、開口部を作成します。
- ②下レール用溝の加工位置を決めます。
※補強材が入っていることを確認してください。
- ③床を施工します。



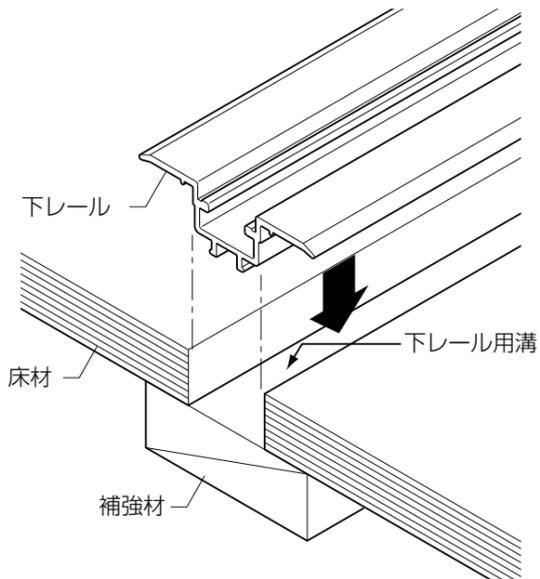
2 枠の組立て・取付け

- ①上枠と縦枠を組立てねじ(皿小ねじM4×50)で組立てます。
※上枠は、左右兼用で取付けられますが、本体折れ方向は上レール幕板の向きによって決まります。
- ②枠を開口部に入れ、縦枠下部ピースを床の下レール用溝にはめ込んで位置出しします。



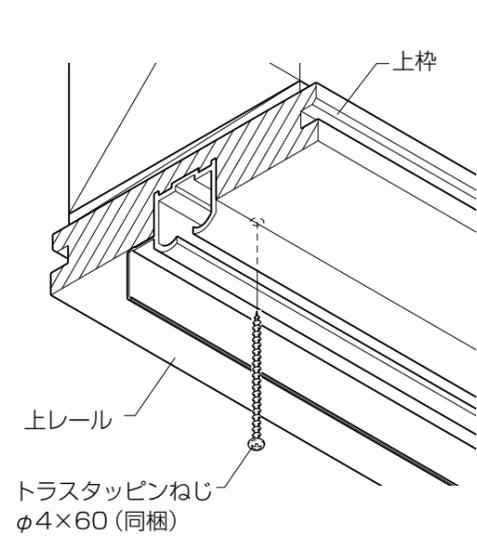
※15mmの床材を使用する場合は、下地材(3mm厚)を下レール用溝に取付けてください。

- ③ 枠を仮止めします。
 ④ 下レールを下レール用溝に差込み、枠下部のW寸法を確認します。
 ※この時下レールは固定しないでください。
 ⑤ 枠を固定し、上・中・下部のW寸法をチェックします。



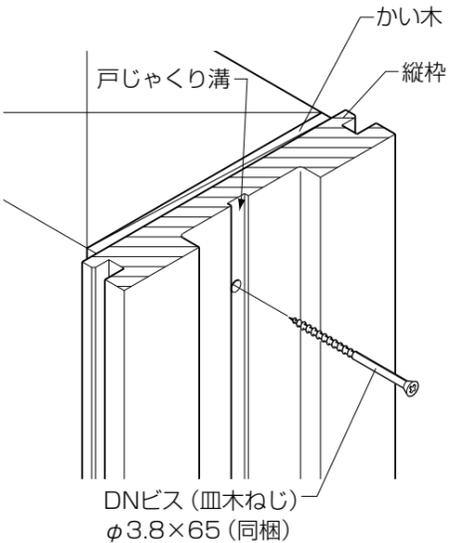
■上枠の固定

- 上レールの穴から躯体にねじ止めします。



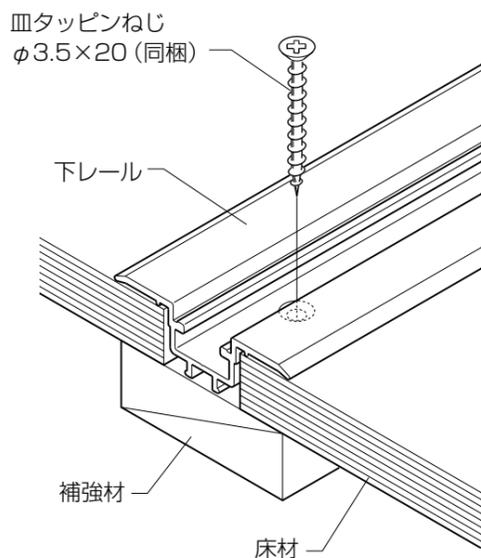
■縦枠の固定

- 縦枠の戸じゃくり溝からねじ止めします。

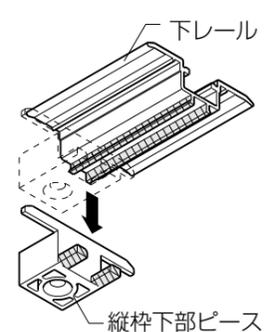
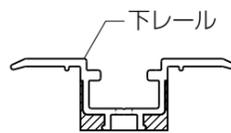


⑥ 下レールの取付け

下レールをねじ (皿タッピンねじφ3.5×20) で固定します。この時、下レールと縦枠下部ピースをはめ込んでからねじ止めしてください。下レールの浮き上がりや開閉不具合の原因となります。

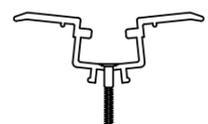
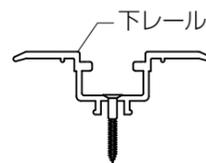


※下レールの足 (斜線部) が縦枠下部ピースの足 (斜線部) の間に下図のように入るよう、取付けてください。



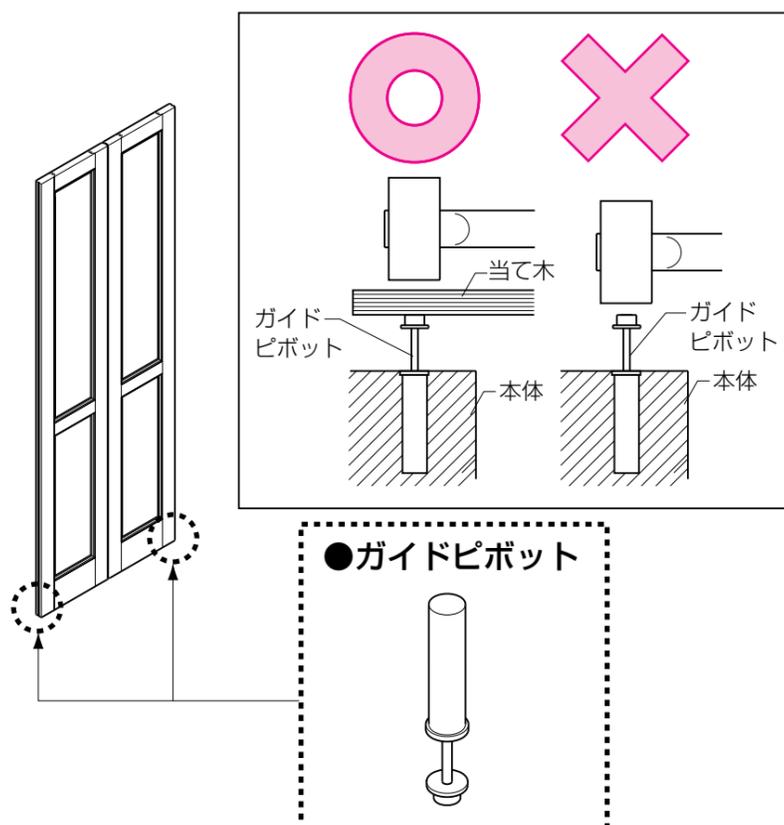
お願い

※下レールを取付けるねじは締めすぎないようにしてください。下レールが変形し、本体開閉の不具合の原因となります。

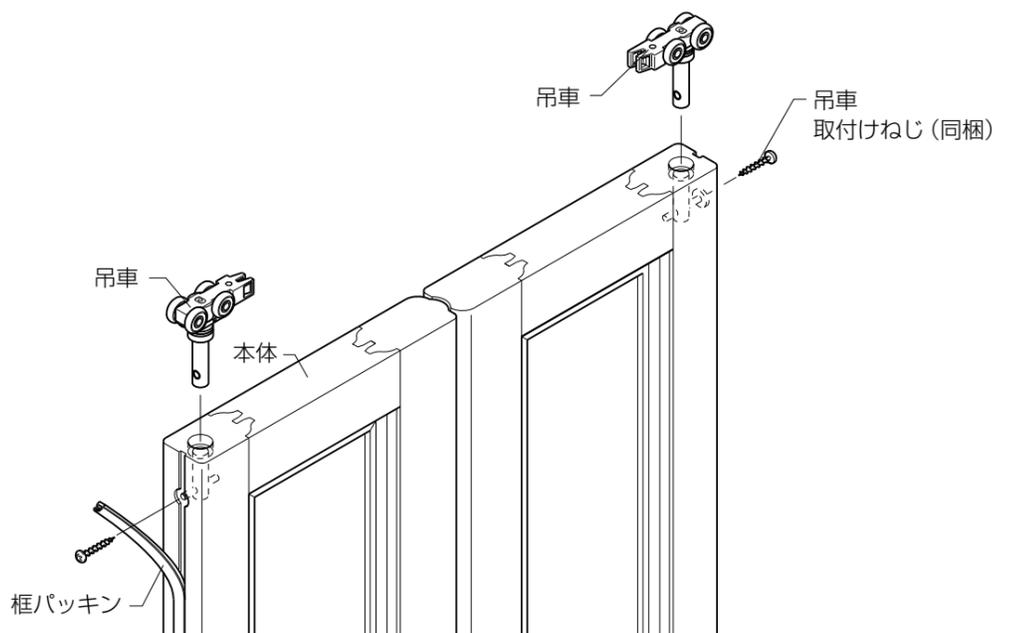


③ 本体の取付け

- ① ガイドピボットの樹脂部に当て木をし、本体下部の加工穴にたたき込みます。



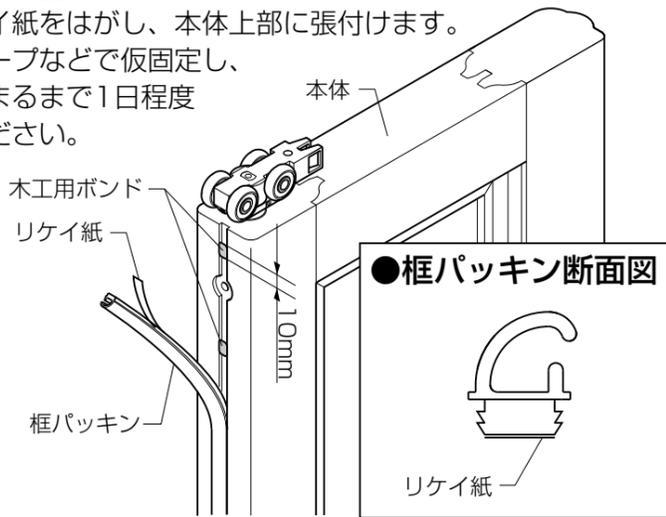
- ② 本体上部の加工穴に吊車を差込み、枠パッキンをよけてねじ止めします。



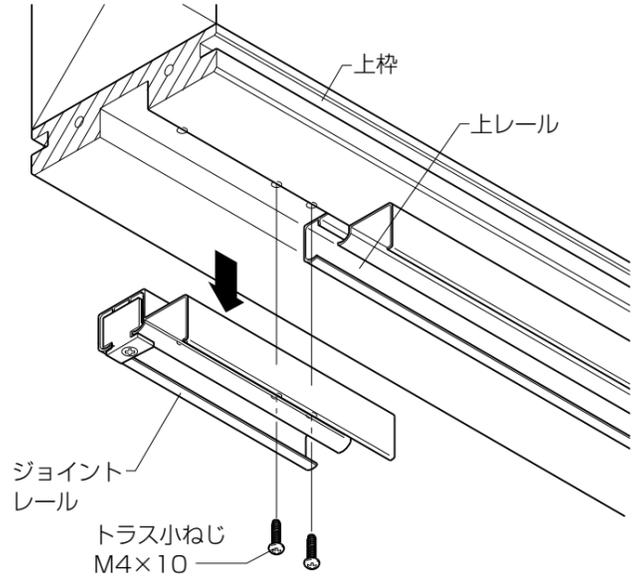
▲ 注意

● 吊車取付けねじの締め忘れ・緩みなどは、本体脱落の原因になりますので、ガタツキのないよう固定してください。

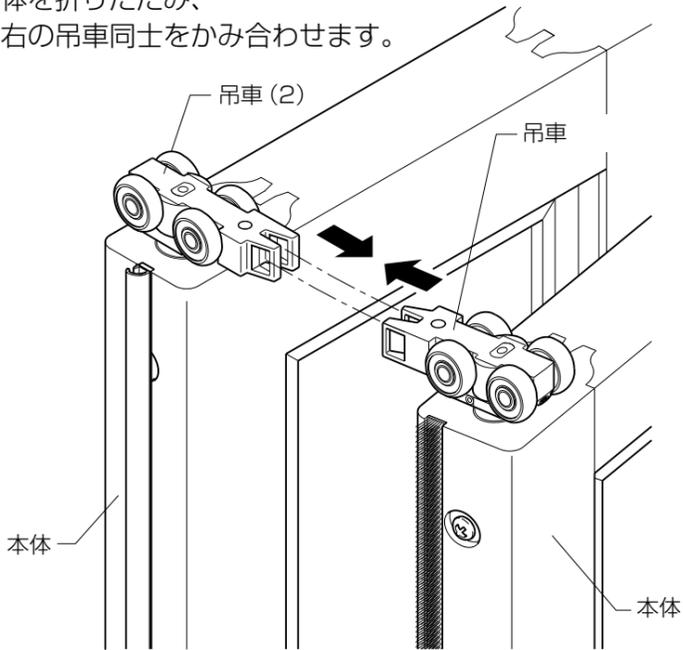
- ③ 框パッキン取付け部の先端と中間部 (下図参照) に、木工用ボンド (現場手配) を10mmほど塗布します。
 ※はみ出さないよう塗布量を調整してください。
 ④ 框パッキンのリケイ紙をはがし、本体上部に張付けます。
 ※必ずマスキングテープなどで仮固定し、接着剤が完全に固まるまで1日程度扉を閉めないでください。



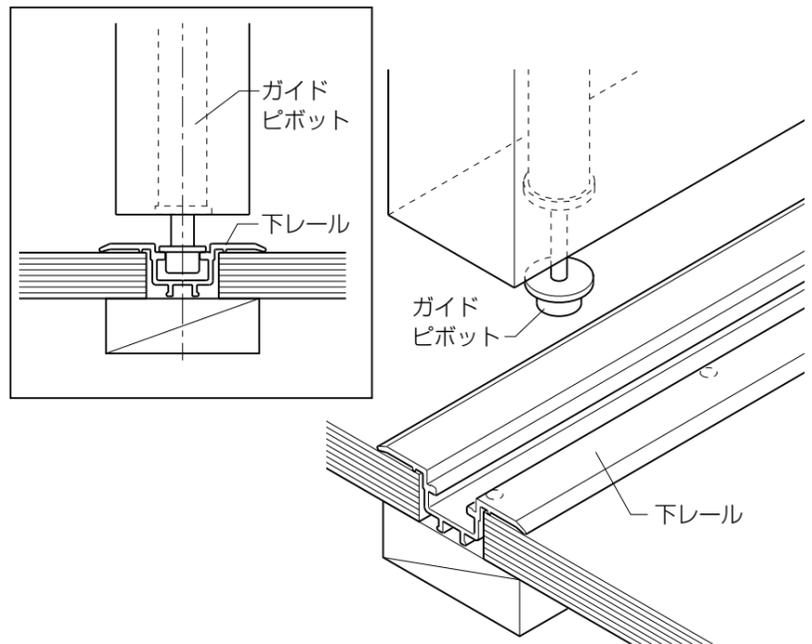
- ⑤ トラス小ねじを外し、上枠のジョイントレールを外します。



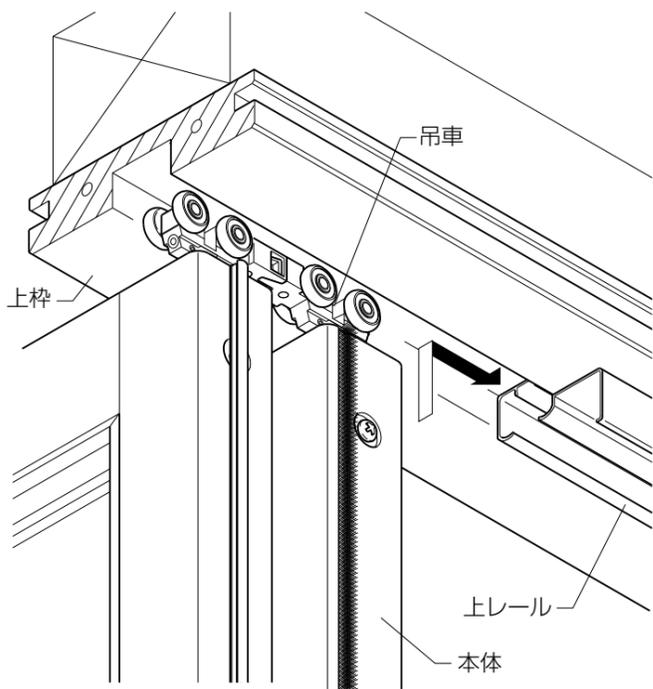
- ⑥ 本体を折りたたみ、左右の吊車同士をかみ合わせます。



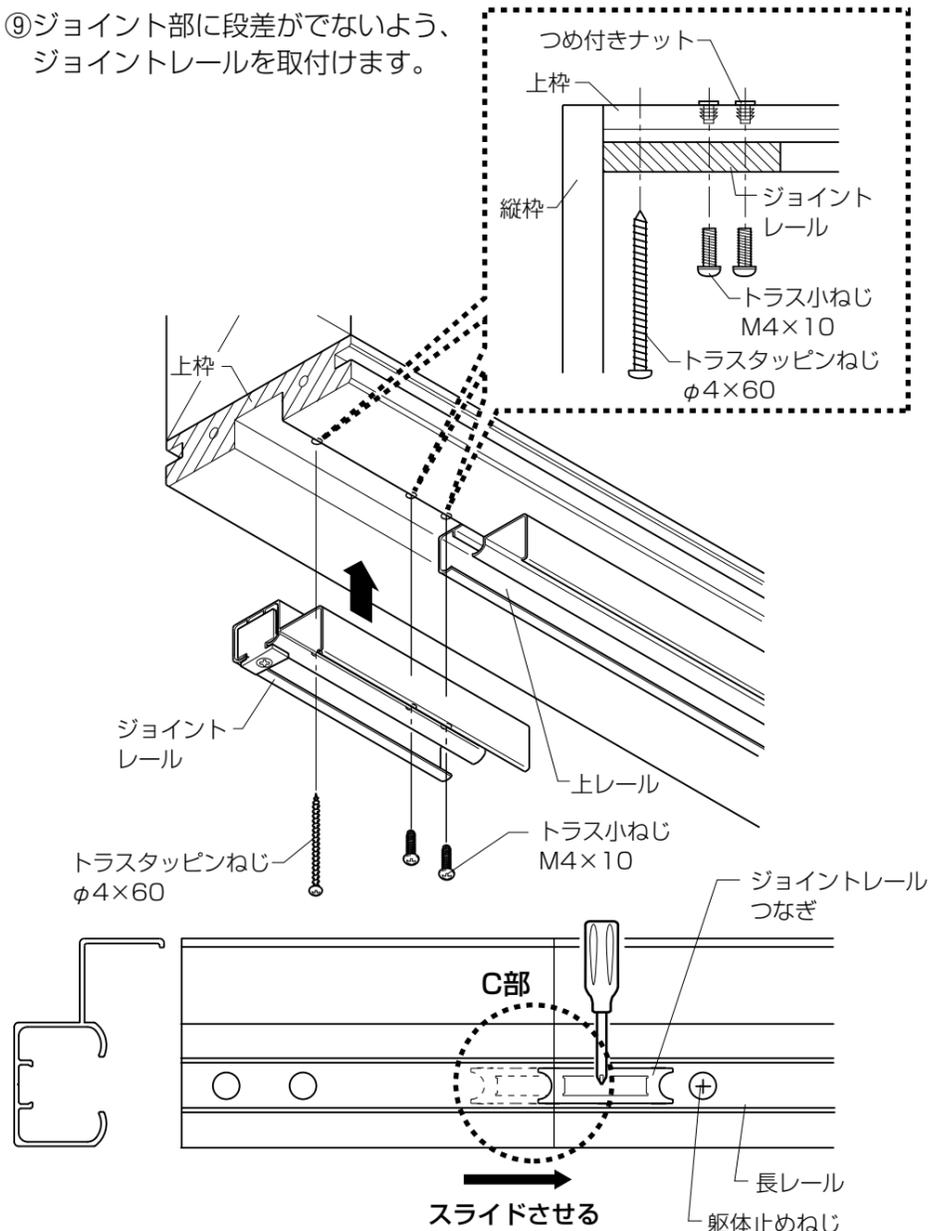
- ⑦ ガイドピボットを、下レールに差込みます。



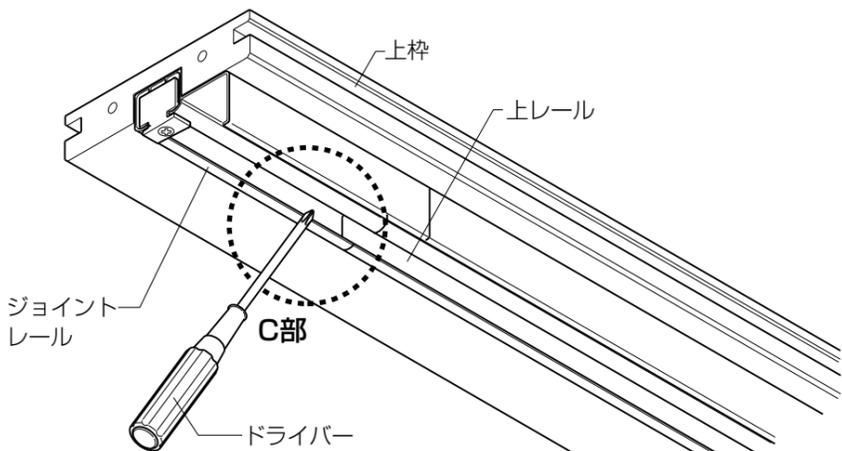
- ⑧ 上レール端から、吊車を差込みます。



- ⑨ ジョイント部に段差がないよう、ジョイントレールを取付けます。

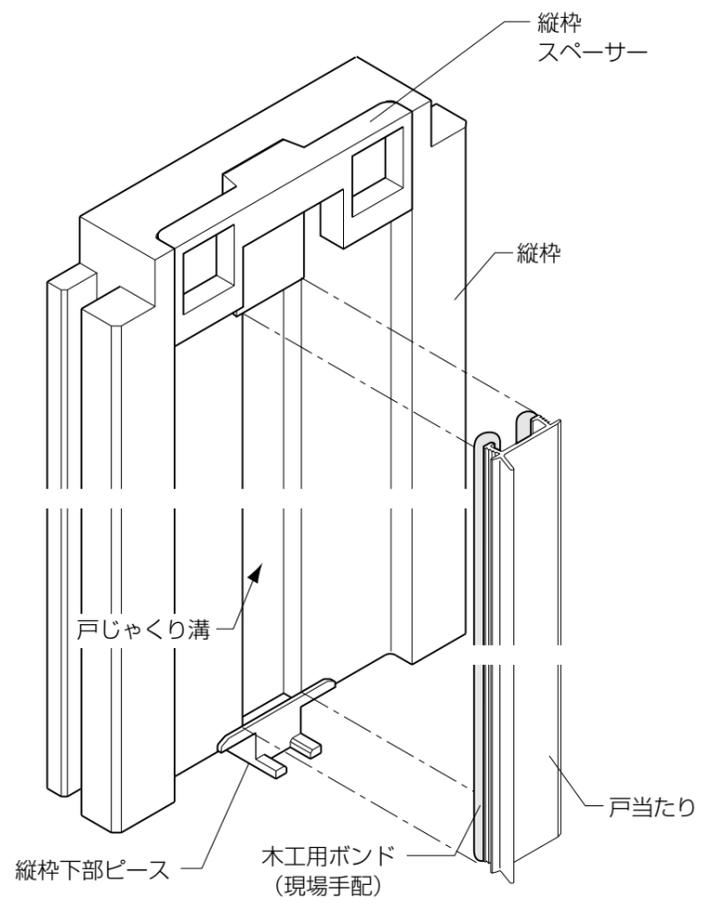
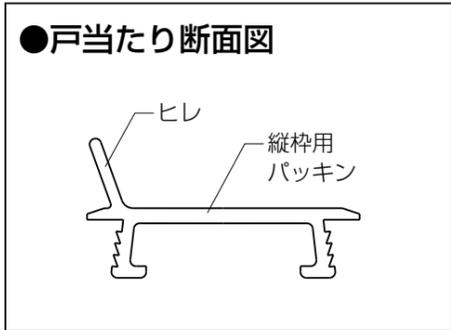
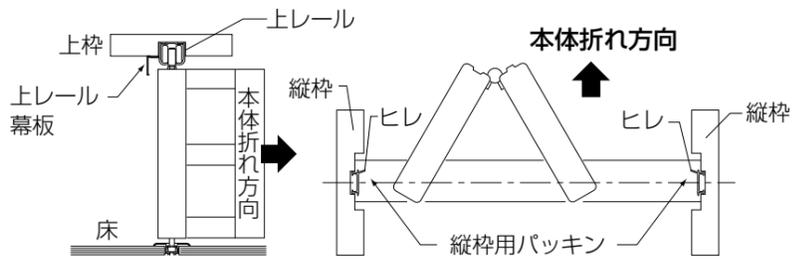


- ジョイントレール取付け後、ズレ防止金具をスライドさせます。



※前後のズレを手で合わせ、+ドライバーでスライドさせます。

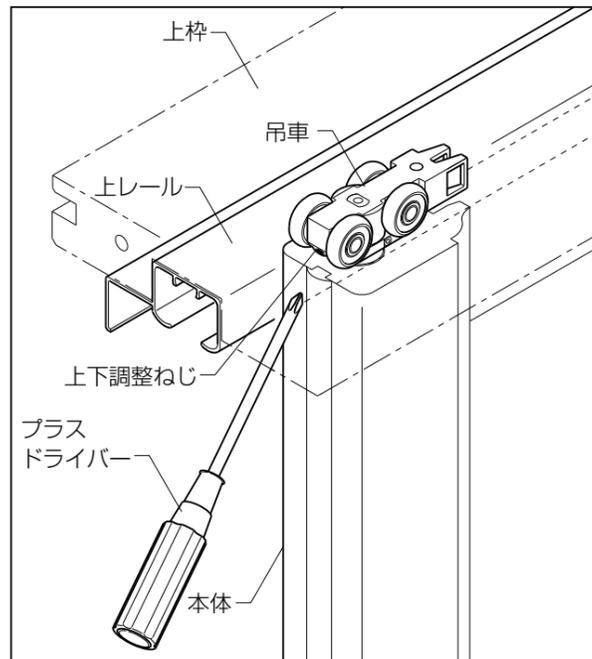
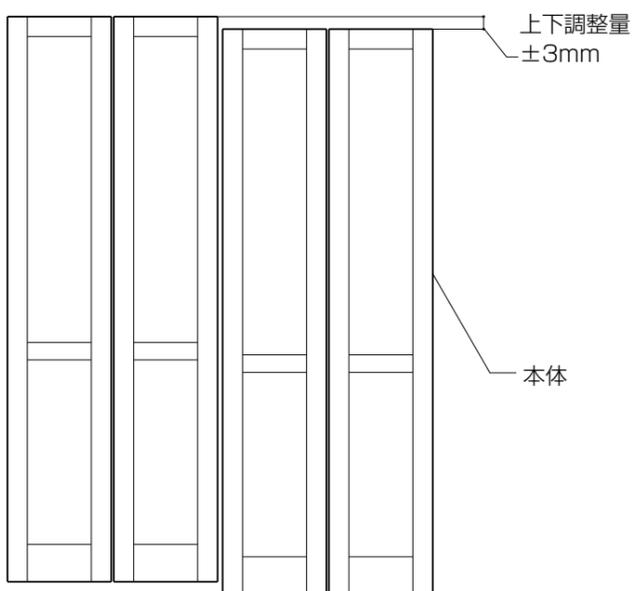
- ⑩戸当りに木工用ボンド（現場手配）をつけて下図に従い、本体の折れる方向にヒレを向けて取付けてください。
 ※ボンドがはみ出さないよう塗布量を調整してください。
 ※逆にすると本体の開閉に支障がでるため、必ず正しい向きにしてください。



4 建付け調整

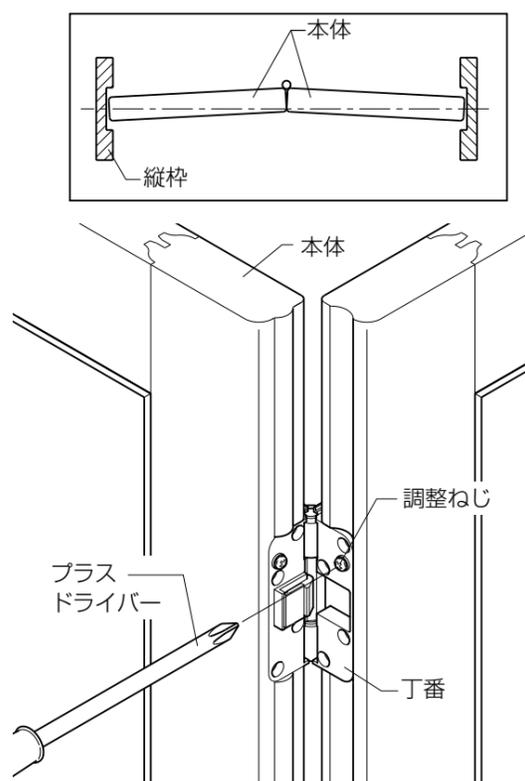
〈上下方向の調整〉

- 本体が段違いになった場合は、左右の吊車の上下調整ねじをドライバーで回して調整してください。



〈本体の閉じ状態の調整〉

- 本体が下図のような場合は、丁番の調整ねじを回して調整してください。本体がフラットになります。



〔左右方向の調整〕

- 本体間のチリが大きい場合は、上レール両端のチリ調整ねじをプラスドライバーで回して調整してください。右に回すとチリが小さくなります。

